

〈日本 SPF 豚研究会誌〉

「All About Swine」投稿要領

1. 投稿者は原則として日本 SPF 豚研究会員に限る。
2. 原稿の内容は本会主催の研究会において発表したもののほか、SPF 豚の普及に役立つ調査・研究論文及び防疫、飼養、流通、消費等に関する解説・資料とする。
3. 原稿は原則としてワープロを使用して B5 用紙に 22 字×33 行、横書きで作成する。手書きの場合は 400 字詰原稿用紙 (B5 版) に横書きとする。投稿原稿の枚数は、図表、写真等を 1 枚と換算して 12 枚以内 (400 字詰原稿用紙 22 枚以内) とする。依頼原稿については編集委員会が指定する枚数とする。
4. 原稿の 1 枚目には表題、投稿者名、所属機関名 (郵便番号及び住所) を記す。2 枚目以降の記述形式は特に定めませんが、文章の段落ごとに小見出しをつける。文献、資料等を引用した場合は末尾に「参考資料」または「引用文献」の項目を設ける。
5. 表は原則として縦罫線を使用せず簡潔なものとし、また図はそのまま印刷が可能なように白色紙または方眼紙に墨汁で記入する。写真は原寸印刷が可能なように原則として横 7 cm 丁度、縦 7 cm 以下とする。図表類には個々に番号 (図 1, 表 2, 写真 3 など) 及び表題をつけ、本文の右欄外に挿入位置を朱記する。
6. 引用した資料等は末尾にアルファベット順に一括し、本文中には [] 付の番号を付して引用箇所を明示する。引用資料等は必要最小限にとどめ、著者名 (発表年)、表題、雑誌名 (略記)、

巻号、ページを記載する。単行本の場合は発行所及び発行地も記載する。

7. 編集委員会は原稿を審査し、改稿を求めることがある。
8. 原稿の送付先は当分の間「〒305 つくば市観音台 3-1-1 農林水産省家畜衛生試験場 山本孝史」宛とする。

〔編集後記〕

新年明けましておめでとうございます。予定より 1 ヶ月遅れてしまいました。第 2 号をお届けします。創刊号よりの連載となりました北海道大学波岡茂郎教授の「日本 SPF 豚物語」が完結しました。文字通りわが国 SPF 豚の産みの親である先生の「産みの苦しみ」がヒシヒシと伝わってくる内容で深く感動しました。と同時に研究と行政の関係について改めて考えさせられました。相互に批判し合うだけでなく、いかに接点を求めて行くか今後ともお互いに常に心しなければいけない課題だと思います。

長年養賢堂の名編集長として活躍された鈴木章氏 (現顧問) の Free Talking 読みごたえがありました。今後とも辛口のご意見等およせくださるようこの場を借りてお願いいたします。

(山本)

「All About Swine」

第 2 号 1992 年 12 月発行 定価 1,500 円
発行所 日本 SPF 豚研究会
〒305 つくば市観音台 3-1-1
家畜衛生試験場